



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月13日

上場会社名 日本ハウズイング株式会社
 コード番号 4781 URL <https://www.housing.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 小佐野 台
 (氏名) 奥田 実
 TEL 03-5379-4141

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	79,375	6.8	3,361	11.1	3,336	12.9	2,062	20.4
2018年3月期第3四半期	74,299	6.8	3,024	2.7	2,954	0.4	1,712	4.1

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 2,021百万円 (5.1%) 2018年3月期第3四半期 1,923百万円 (22.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	128.26	
2018年3月期第3四半期	106.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	54,947	29,521	52.0	1,775.95
2018年3月期	52,492	28,918	53.1	1,733.59

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 28,554百万円 2018年3月期 27,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		32.00		34.00	66.00
2019年3月期		34.00			
2019年3月期(予想)				34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,600	6.7	5,470	0.1	5,400	0.1	3,350	1.7	208.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	16,080,000 株	2018年3月期	16,080,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年3月期3Q	1,779 株	2018年3月期	1,779 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	16,078,221 株	2018年3月期3Q	16,078,221 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	当第3四半期	前年同四半期	前期比
売上高	79,375	74,299	6.8%
営業利益	3,361	3,024	11.1%
経常利益	3,336	2,954	12.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,062	1,712	20.4%

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益は堅調が持続する中、雇用・所得環境の着実な改善を受け、個人消費の持ち直しや、設備投資の増加がみられる等、景気については緩やかな回復基調で推移いたしました。海外経済においても、米国を中心に景気が着実に回復している状況ではありますが、先行きについては、米中の貿易摩擦等の通商問題の動向や、金融資本市場の変動の影響について留意が必要な状況です。

このような状況のもと、当社企業グループは、主力であるマンション管理事業を中心に、ストックの拡充及び収益の向上に取り組み、営繕工事の受注にも注力して、売上・利益ともに前年同期を上回ることができました。また、国内連結子会社において固定資産売却に伴う特別利益が計上されたことで、親会社株主に帰属する四半期純利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は79,375百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は3,361百万円（前年同期比11.1%増）、経常利益は3,336百万円（前年同期比12.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,062百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	当第3四半期	前年同四半期	前期比	当第3四半期	前年同四半期	前期比
マンション管理事業	37,400	35,597	5.1%	2,864	2,331	22.8%
ビル管理事業	8,655	8,631	0.3%	525	640	△18.0%
不動産管理事業	4,229	3,988	6.0%	435	446	△2.4%
営繕工事業	29,089	26,082	11.5%	1,640	1,708	△4.0%
消去又は全社	—	—	—	△2,104	△2,101	—
合計	79,375	74,299	6.8%	3,361	3,024	11.1%

① マンション管理事業

マンション管理事業につきましては、国内においては、管理委託料の値上げの効果が生じていること、海外においては、台湾における子会社の東京都保全股份有限公司が堅調に推移したこと等が売上高及び利益面に寄与いたしました。

その結果、売上高は37,400百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は2,864百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

② ビル管理事業

ビル管理事業につきましては、当社においては新規受託が好調に推移しましたが、一方で、前年同期に国内子会社において売買仲介収入が一時的に利益面を押し上げたことにより、当第3四半期の利益は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は8,655百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は525百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

③ 不動産管理事業

不動産管理事業につきましては、管理ストックから派生する周辺事業の受注が堅調に推移しましたが、仲介手数料収入が低調に推移したことが利益面に影響いたしました。

その結果、売上高は4,229百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は435百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

④ 営繕工事業

営繕工事業につきましては、当社において小規模工事が好調に推移したことに加え、新たにグループ化した株式会社伊勝が売上・利益に寄与いたしました。一方で、その他の国内外における子会社の業績が前年同期と比較し低調に推移したことが利益面に影響いたしました。

その結果、売上高は29,089百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は1,640百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	当第3四半期末	2018年3月期	増減
資 産	54,947	52,492	2,454
負 債	25,425	23,573	1,851
純 資 産	29,521	28,918	602
うち自己資本	28,554	27,872	681
期末有利子負債	6,378	4,867	1,511
自己資本比率(%)	52.0	53.1	△1.1

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,454百万円増加し54,947百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加354百万円、未成工事支出金の増加2,450百万円、建物及び構築物の増加274百万円、土地の増加182百万円、のれんの増加272百万円、投資有価証券の増加148百万円、現金及び預金の減少1,697百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,851百万円増加し25,425百万円となりました。この主な要因は、未成工事受入金の増加2,045百万円、有利子負債の増加1,511百万円、支払手形及び買掛金の減少403百万円、未払法人税等の減少909百万円、賞与引当金の減少549百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ602百万円増加し29,521百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加2,062百万円、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少1,093百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月9日に公表いたしました業績予想に変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,891	15,194
受取手形及び売掛金	13,736	14,091
販売用不動産	24	294
未成工事支出金	2,768	5,218
原材料及び貯蔵品	198	216
その他	861	1,120
貸倒引当金	△81	△46
流動資産合計	34,398	36,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,007	4,282
機械装置及び運搬具(純額)	111	101
工具、器具及び備品(純額)	476	434
土地	7,162	7,344
建設仮勘定	7	—
有形固定資産合計	11,764	12,163
無形固定資産		
のれん	1,903	2,175
その他	1,036	924
無形固定資産合計	2,940	3,100
投資その他の資産		
投資有価証券	259	408
差入保証金	1,052	1,083
繰延税金資産	895	930
その他	1,311	1,300
貸倒引当金	△129	△129
投資その他の資産合計	3,388	3,593
固定資産合計	18,094	18,857
資産合計	52,492	54,947

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,071	6,668
短期借入金	2,965	4,136
1年内返済予定の長期借入金	425	731
未払法人税等	1,418	508
未払費用	2,690	2,642
賞与引当金	1,591	1,041
工事損失引当金	15	13
その他	4,545	6,671
流動負債合計	20,723	22,412
固定負債		
長期借入金	1,475	1,511
退職給付に係る負債	467	507
繰延税金負債	72	114
その他	835	880
固定負債合計	2,850	3,013
負債合計	23,573	25,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,492	2,492
資本剰余金	2,305	2,132
利益剰余金	22,904	23,872
自己株式	△1	△1
株主資本合計	27,700	28,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	32
為替換算調整勘定	73	△6
退職給付に係る調整累計額	39	31
その他の包括利益累計額合計	171	57
非支配株主持分	1,045	967
純資産合計	28,918	29,521
負債純資産合計	52,492	54,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	74,299	79,375
売上原価	56,508	60,777
売上総利益	17,790	18,597
販売費及び一般管理費	14,766	15,236
営業利益	3,024	3,361
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	7	6
持分法による投資利益	4	17
その他	45	66
営業外収益合計	75	109
営業外費用		
支払利息	90	81
その他	55	53
営業外費用合計	145	134
経常利益	2,954	3,336
特別利益		
国庫補助金	20	—
固定資産売却益	—	88
特別利益合計	20	88
特別損失		
固定資産圧縮損	17	—
特別損失合計	17	—
税金等調整前四半期純利益	2,957	3,424
法人税等	1,084	1,261
四半期純利益	1,872	2,162
非支配株主に帰属する四半期純利益	159	100
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,712	2,062

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,872	2,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△26
為替換算調整勘定	30	△106
退職給付に係る調整額	16	△8
その他の包括利益合計	51	△140
四半期包括利益	1,923	2,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,761	1,947
非支配株主に係る四半期包括利益	162	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、原則として、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	35,597	8,631	3,988	26,082	74,299	—	74,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	9	198	1	234	△234	—
計	35,622	8,640	4,186	26,083	74,533	△234	74,299
セグメント利益	2,331	640	446	1,708	5,126	△2,101	3,024

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,101百万円は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,102百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,400	8,655	4,229	29,089	79,375	—	79,375
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35	12	200	1	249	△249	—
計	37,435	8,667	4,430	29,090	79,624	△249	79,375
セグメント利益	2,864	525	435	1,640	5,465	△2,104	3,361

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,104百万円は、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,106百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。